

博士課程合格への近道

基本的には、大学院に合格するためのステップと同じで6つのステップで最低でも4番にたどり着くことが重要です。

修士課程との違いで、博士課程は大学から学費免除と生活費補助のお仕事を取ることです。日本とは大きく異なり、アメリカの博士課程では学生の8割が研究アシスタント/RA: Research Assistant や ティーチングアシスタント/TA: Teaching Assistant の仕事をして、その為に学費が免除になり生活費を全額・または一部負担してくれます。

日本ではほとんどないシステムです。RA や TA が取れない場合は、大学にそもそも合格しない・また学生も合格しても行かない(多くの費用がかかるため)のは至って普通です。

【初公開！】アメリカ博士課程のリアルとは？(体験談) <https://youtu.be/tzQppTLiU8c>

博士課程で重要な書類、Writing Sample/Publication

以前書いた論文の提出(修士論文等)や投稿論文(Publication)があると有利です。もし以前に英語で書いた書類がない場合は、課題を英語に翻訳して提出するなどをしてしないと出願規定を満たすことが出来ない場合もあります。

大事な点として、修士課程で研究活動がどうであったか。例えば、学会発表の経験/実績。研究論文の経験/実績。卒業論文から修士論文の経験。これらが大事です。Writing Sample の提出が求められる大学院は、研究論文でジャーナルに掲載されていると有利です。英語で研究論文があるのが1番良いですが、日本語で論文があったとしても抄録(Abstract)は英語だと思いますので、論文があるのは言語に限らず有利になります。共同研究者としての研究論文も立派な実績です。

また私の中の裏技ですが、研究論文が掲載されていなかったとしてもジャーナルに出したという査読中(Under Review)の書類を指導教官へ Email で送ることは可能であり、このサポートから博士課程に合格した小林さんもその方法を使い、結果合格に近づきました。

英文校閲の後、博士課程に学費免除で合格: <https://youtu.be/tWKpgQa5ZB4>

博士課程が修士課程と大きく変わる点

応募人数ですが、修士課程よりも博士課程は減ります。GRE の点数や成績 GPA での足切りが少なくなります。点数が足りなくても目を瞑ってくれる大学院もあります。私は、アメリカの修士課程を修了していたので、語学の試験の点数は必要なしでした。GRE は、点数が点数不足でした。

イワツキ大学 <https://hiroiwatsuki.com/>

研究論文を執筆することについて

博士課程の前に研究業績を残すことは、合格への近道で、非常に大事なステップです。研究業績が 何もない場合は、合格しないことも珍しくありません。研究に関しては、第3章でお伝えしています。以下の情報は参考になるでしょう。

研究論文を執筆(初級)

動画集: <https://sites.google.com/view/iwatsuki-univ-video/youtube/how-to-write>

研究論文を提出(中級)

動画集: <https://sites.google.com/view/iwatsuki-univ-video/youtube/how-to-submit>

研究論文を掲載(上級)

動画集: <https://sites.google.com/view/iwatsuki-univ-video/youtube/how-to-publish>

以下の限定公開動画も興味がある内容をご覧ください。

【限定公開】研究の重要性、研究の業績を増やす方法とどう博士課程へアピールする材料を作るのか
<https://youtu.be/8thZrDZoLX0>

【限定公開】指導教官以外の人と研究をすることについて
<https://youtu.be/dNjXbu03q2U>

【限定公開】修士課程と博士課程は同じ研究をするべきですか？
<https://youtu.be/lHpO3TsCpEw>

【限定動画】研究論文を投稿して合格にアピールする方法
<https://youtu.be/kI0uSregzNY>

イワツキ大学 <https://hiroiwatsuki.com/>